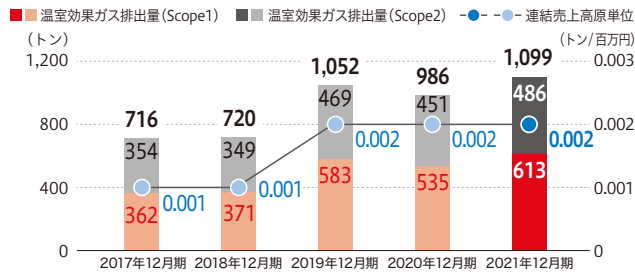


非財務ハイライト

温室効果ガス排出量(scope 1-2)(連結)

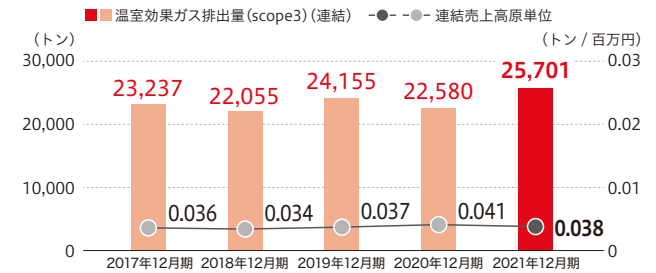
1,099 トン



温室効果ガス排出量(Scope 1-2)は、特に海外での生産・売上が伸びた影響で、前年比でScope 1が15%、Scope 2が8%増加となりました。売上高原単位は、前年比でScope 1+2で8%改善しました。

温室効果ガス排出量(scope 3)(連結)

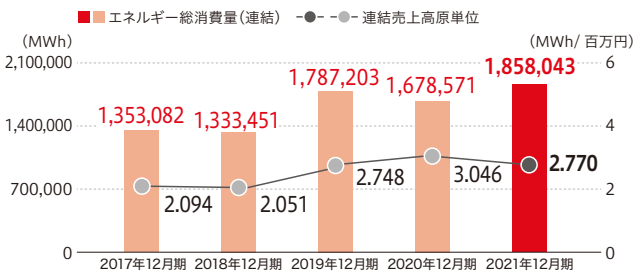
25,701 トン



温室効果ガス排出量(Scope 3)は、特に海外での生産・売上が伸びた影響で、前年比で14%増加となりました。売上高原単位は、前年比で6%改善しました。

エネルギー総消費量(連結)

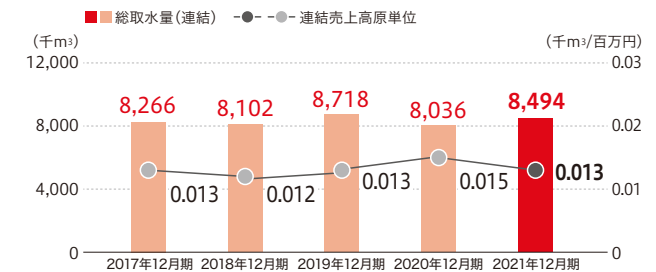
1,858,043 MWh



エネルギー総消費量は、特に海外での生産・売上が伸びた影響で、前年比で11%増加しました。売上高原単位は、前年比で9%と大きく改善しました。

総取水量(連結)

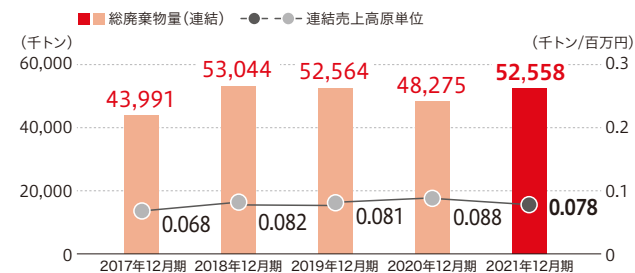
8,494 千m³



総取水量は、特に海外での生産・売上が伸びた影響で、前年比で6%増加しました。売上高原単位は、前年比で13%改善しました。

総廃棄物量(連結)

52,558 千トン



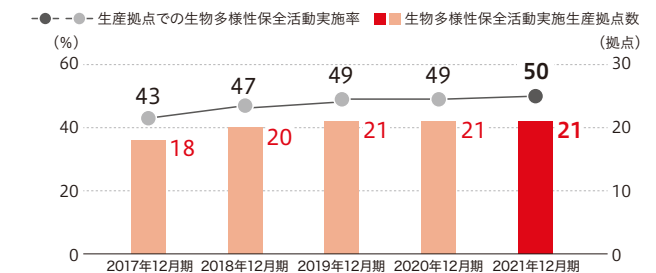
総廃棄物量は、前年比で9%増加しました。売上高原単位は、TB用タイヤの歩留まり改善により、前年比で11%と大きく改善しました。

生産拠点での生物多様性保全活動実施率

50 %

生物多様性保全活動実施生産拠点数

21 拠点



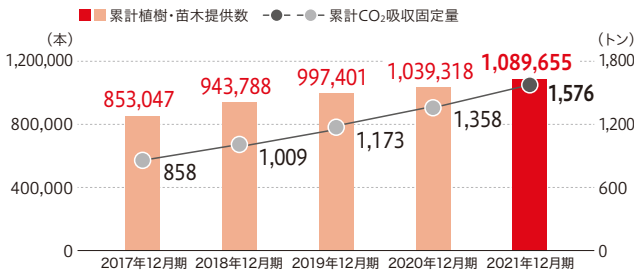
生物多様性保全活動を行う生産拠点の比率は、前年比で1ポイント増加しました。生産拠点数は、生産拠点の集約もあり、前年比同数となっています。

YOKOHAMA千年の杜活動
累計植樹・苗木提供数

1,089,655 本

累計CO₂吸収固定量

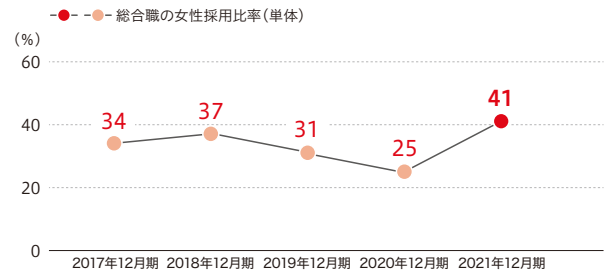
1,576 トン



YOKOHAMA千年の杜活動での植樹・苗木提供は、前年比5%増の累計1,089,655本となりました。
CO₂吸収固定量は、前年比16%増の累計1,576トンとなりました。

総合職の女性採用比率(単体)

41 %



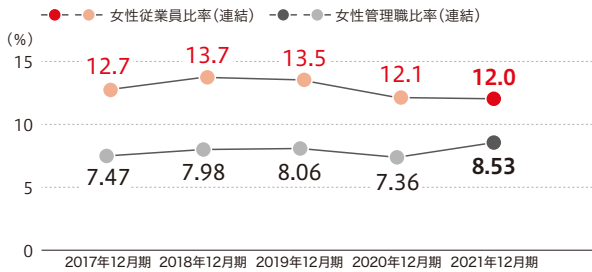
総合職の女性採用比率(単体)は、前年比16ポイント増加しました。

女性従業員比率(連結)

12.0 %

女性管理職比率(連結)

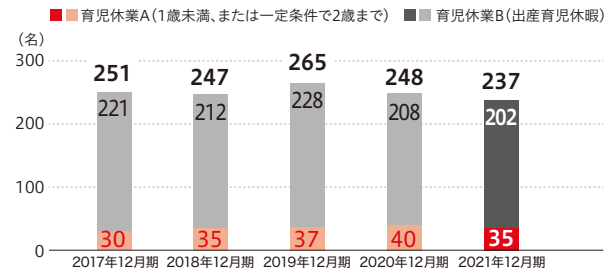
8.53 %



女性従業員比率(連結)は、前年比0.1ポイント減少しました。
女性管理職比率(連結)は、前年比1.17ポイント増加しました。

育児休業取得者数(単体)

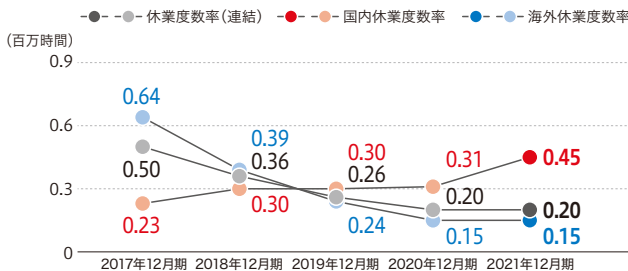
237 名



1日から取得できる育児休業Bが男性社員にも定着し、育児休業取得者数は、合計237名となりました。

休業度数率(連結)

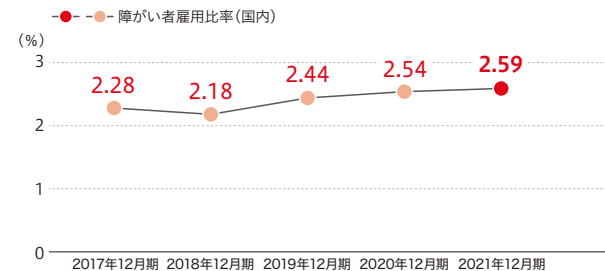
0.20 百万時間



グローバルで休業度数率の低減に向けた取り組みを継続した結果、休業度数率は0.20を維持しました。

障がい者雇用比率(国内)^{※7}

2.59 %



※7 横浜ゴム、ヨコハマピアサポート、ヨコハマタイヤジャパン、横浜ゴムMBジャパンの4社
障がい者の採用を進めた結果、障がい者雇用比率(国内)は、前年比0.05ポイント増加しました。